

## 気高町八束水

### 12本の矢で五穀豊穡を占う

4月23日(日)、奈良時代から伝わる伝統行事で、県の無形民俗文化財に指定されている「百手の神事」が、気高町八束水の姫路神社で催されました。邪気を払うという言い伝えのある天狗と神楽獅子を先導に、翁の面をかぶった神官や氏子たちが境内を練り歩きます。その後、翁が1年12カ月を意味する12本の矢を的に向けて放ち、今年五穀豊穡を占うとともに、1年間の無病息災を祈ります。笛や太鼓がおごそかに鳴り響く境内には、地区外からも多くのファンが訪れ、古くから大切に引き継がれてきた伝統行事を、熱心にカメラに収めていました。



## 河原城

### お城で一服、ほっと一息

5月3日(水)と4日(木)、お城山展望台河原城で、恒例の「河原城春の茶会」が開催されました。これまでは新緑の青空の下、野点が行われていましたが、今年は天候に左右されないよう、初めて城内でのお茶会となりました。2日間で市内外から家族連れなど約1200人が訪れ、茶席のほか、河原城マスコットキャラクター「あゆ丸くん」との写真撮影会や売沼神社の麒麟獅子舞など、河原の春の祭りを存分に楽しんでいました。



## 旧鹿野小学校体育館

### 情熱の舞台裏を公開

5月1日(月)、旧鹿野小学校体育館で舞台稽古を実施している劇団「鳥の劇場」が、稽古の様子を一般公開しました。これは、5月13日に静岡の芸術祭で公演された「貴婦人故郷に帰る」の舞台作りと最先端の演劇の稽古の模様をじかに感じてもらおうと、演出家で劇団主宰の中島諒人さんがこの日も含めて3回行ったものです。「演劇を通じて鳥取に元気になってもらいたい。この施設をお借りすることができ、大道具などの組み立てや撤収などの制約がない分、演劇に集中でき、練習時間も長くとれ、大変ありがたい。」と中島さん。鳥取での公演は秋に予定されています。



## 市役所駅南庁舎

### 車椅子使用者に強い味方、登場

5月1日(月)、市役所駅南庁舎3階の障害者専用駐車場に、車椅子使用者の駐車スペースを確保する案内装置「アイボックス」が設置されました。この場所に車を駐車すると、パライトが点灯するとともに障害者専用駐車場であることを説明する音声の流れ、一般の駐車に自制を促します。この日は、寄贈者である(株)今石電機製作所の今石広代表取締役社長、(株)光陽の岸本清代表取締役、林副市長から感謝状が贈呈されました。本市は今後も、障害をお持ちの人が住みよいまちづくりに積極的に取り組んでいきます。



## 国府町宮下

### 因幡国の一の宮で春の例大祭

4月21日(金)、因幡国の一の宮、宇倍神社で「春の例大祭」が行われました。午前中は「浦安の舞」や「麒麟獅子舞」など地元の伝統芸能が奉納され、昼からは「麒麟獅子舞」を先頭に賑やかな行列や勇壮な武者行列、元気いっぱいのこども御輿などが町内を練り歩きました。当日は、風の強い肌寒い一日となりましたが、境内や参道には多くの見物客が訪れ、地元で古くから伝わる祭りを楽しみました。

